

平成 27 年度 AED 講習会を開催

平成 27 年 5 月 27 日（水）に、大学院生と学部 4 年生および教職員を対象に工学系研究科・理工学部安全衛生委員会が標記の講習会を開催しました。講師は医学部救急医学講座、救急救命センター長の阪本雄一郎教授です。安全衛生委員会では毎年度「安全の手引き」を作成し学生に配布しています。工学系研究科・理工学部は平成 25 年度に全館一階に AED を設置し、同手引きの第 2 章「緊急時の対応」に AED 利用による心肺蘇生を加筆しましたが、緊急時に利用できなければ意味がありません。初動の心構えを醸成するために、実技を含む講習会を開催しました。

がトライン G2010 では（蘇生後の脳機能障害を避けるために、呼吸確保より血流確保を優先する方針となった）心肺停止の初動が胸骨圧迫であること。ハンズオンリー CPR 法（手のひら基部による圧迫と弛めの繰り返し）を続けることの重要性が説かれました。人体半身模型を利用した胸骨圧迫と AED 使用の実演が、救命救急センター助教の山田クリス孝介先生により行われ、女子学生も含む数名の学生が山田先生の指導の下で胸骨圧迫の実習を行い、圧迫位置の確認と圧迫時の力加減およびペースの感覚を体験しました。

参加者が 75 名と少なかったことは残念ですが、参加者は緊急時に迷うことなく救急車が来るまで積極的に救護に関与できる心構えができたと思います。



